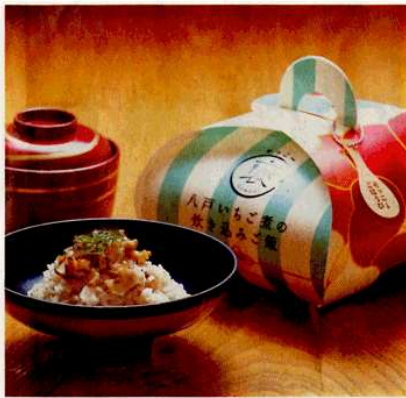


デーリー東北  
2019年(令和元年)5月14日(火曜日)(2)



味の海翁堂が発売する「八戸いちご煮の炊き込みご飯」

# 「いちご煮炊き込みご飯」発売

## 味の海翁堂(八戸)、八工大生とコラボ

### パッケージ、コピー考案



商品を考案した若松紗季さん(左)と津島有依さん

味の海翁堂(八戸市、横一郎社長)は16日に、八戸工業大の学生とコラボして開発した新商品「八戸いちご煮の炊き込みご飯」を発売する。同大感性デザイン学部創生デザイン学科の学生2人がパッケージデザインとキヤッチコピーを考案。横社長は「名物のいちご煮に、学生の斬新なアイデアを取り入れた商品で、全国に発信していきたい」とPRしている。(福田駿)

考案したのは、同学科4年の若松紗季さん(22)と津島有依さん(21)の2人。デザインは風呂敷をイメージし、食べ終わった後も取っておきたいよう、若い女性に人気のレトロポップを取り入れた。キヤッチコピーは「そっこーごほうび」。仕事終わりで疲れていても、おいしい物を手

商品は、電子レンジで5分間温めると完成する炊き込みご飯で、本格的な味を手軽に味わえるのが特長。販売価格は1080円(税込み)で、八食センターや三春屋、さくら野八戸店などで購入できる。若松さんは「横社長から好評だったので驚いた。社会人になった時に今回のプロセスが生かせると思う」、津島さんは「実際に商品化されるとは思っていなかった。就職活動に生かしていきたい」とそれぞれ話した。